

## 本書の特色と使い方

### ◆本書のしくみ

本書は、漢字の読み書きと、それ以外の漢字・語句の問題を、実際の入試問題から収集・分類して構成しています。全体を二五回に分けて、学習します。

各回はそれぞれ、

『読み取り問題』一頁

『書き取り問題』一頁

『実戦問題』二頁 の四頁構成になっています。

漢字の読み書き以外の漢字の問題も豊富に取り上げているので、漢字についての総合力が自然と身につきます。

### ◆本書の特色と使い方

●『読み取り問題』／『書き取り問題』

過去の実際の入試問題を分析して、出題頻度順に、

最頻出A・B・C／頻出A・B・C

の六ランクに分類してあります。

●『実戦問題』

読み書き以外の入試問題の中から、漢字・語句についてよく出題されるものを厳選・分類してあります。

●「エック欄」の利用

問題をやって、間違えた箇所は、欄を利用して、できるまで何度もやり直しましょう。

●『入試直前 重要語句の確認』の活用

『入試直前 重要語句の確認』は、入試問題によく出る重要な語句をまとめたものです。実践問題の単元にも対応しているので、問題をやりながら参照してください。さらに入試直前に総点検すれば大変効果的な復習になります。

◆解答……『読み取り問題』、『書き取り問題』、『実戦問題』の解

答は巻末にあります。

## 『入試直前 重要語句の確認』の内容

◆筆順を間違いない漢字

筆順を間違いない部分・漢字の、筆順と画数。

◆形の似ている漢字

形の似た漢字で、読みの同じものと、読みの違うものの例。

◆読み間違いやすい漢字

音読みや訓読みが複数あつて、読み間違いやすい漢字の例。

◆書き間違いやすい漢字

熟語の中てついで別の漢字を書いてしまいがちなもの、漢字の細部を書き間違いやすいものの例。

◆常用漢字表 付表

高校までに学習する熟字訓の一覧表。

◆二字熟語の組み立て

二字熟語の組み立てを分類・解説したもの。

◆重要な四字熟語

よく出題される四字熟語の意味を簡潔に説明したもの。

◆主な対義語／主な類義語

代表的な対義語・類義語の例。

◆主な同音異義語

音読みが同じ二字熟語の比較用例。

◆主な同訓異字

訓読みが同じ漢字の比較用例。

◆主な故事成語

よく出題される故事成語の意味を説明したもの。

◆主な格言・ことわざ

よく出題される格言・ことわざの意味を説明したもの。

◆主な慣用句

よく出題される慣用句の意味と用例。

◆部首の整理

常用漢字の部首すべてについての、画数、部首名、漢字例。

● 読み取り問題・書き取り問題 ●

最頻出	Aランク	.....	88
最頻出	Bランク	.....	72
最頻出	Cランク	.....	56
頻出	Aランク	.....	40
頻出	Bランク	.....	24
頻出	Cランク	.....	4

● 実戦問題 ●

部首と画数	.....	10
書体	.....	6
筆順	.....	14
形の似ている漢字	.....	18
読み間違いやすい漢字	.....	22
書き間違いやすい漢字	.....	26
熟字訓	.....	30
二字熟語の組み立て(1)	.....	34
二字熟語の組み立て(2)	.....	38
重要な四字熟語(1)	.....	42
重要な四字熟語(2)	.....	46
対義語(1)	.....	50
対義語(2)	.....	54
類義語	.....	58
同音異字	.....	62
同音異義語(1)	.....	66
同音異義語(2)	.....	70

◆ 入試直前 重要語句の確認 ◆

筆順を間違いやすい漢字	.....	104
形の似ている漢字	.....	105
読み間違いやすい漢字	.....	107
書き間違いやすい漢字	.....	109
常用漢字表 付表	.....	110
二字熟語の組み立て	.....	111
重要な四字熟語	.....	112
主な対義語	.....	116
主な類義語	.....	118
主な同音異義語	.....	120
主な同訓異字	.....	123
主な故事成語	.....	125
主な格言・ことわざ	.....	128
主な慣用句	.....	131
部首の整理	.....	135

同訓異字	.....	74
故事成語(1)	.....	78
故事成語(2)	.....	82
格言・ことわざ(1)	.....	86
格言・ことわざ(2)	.....	90
慣用句(1)	.....	94
慣用句(2)	.....	98
体の部分を使った慣用句	.....	102

## 読み取り問題

## 最頻出Aランク1

★次の——線を引いた漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 増税で景気引き締めを促す。 ( )  
 (2) 木々の緑が鮮やかな季節だ。 ( )  
 (3) 現場の惨状に目を覆う。 ( )  
 (4) 耳を澄まして虫の音を聞く。 ( )  
 (5) 外国にいるような錯覚を起こす。 ( )  
 (6) 感傷的な気分<sup>に</sup>浸る。 ( )  
 (7) 母親らしい柔らかな顔つきだ。 ( )  
 (8) 岸壁から大海原を眺める。 ( )  
 (9) アルバイトの学生を募る。 ( )  
 (10) 家族を思うと決心が揺らぐ。 ( )  
 (11) ほんのりと梅の香りが漂う。 ( )  
 (12) 親子で顔の輪郭がよく似ている。 ( )  
 (13) 登山には達成感が伴う。 ( )  
 (14) 自分を信じて難関に挑む。 ( )  
 (15) 発展途上国の近代化に貢献する。 ( )
- 
- (16) 猫を飼って寂しさを紛らす。 ( )  
 (17) 傷ついた友人を慰める。 ( )  
 (18) あて名の文字を丁寧<sup>に</sup>書く。 ( )  
 (19) 山登りには雨具と水筒を携える。 ( )  
 (20) 晩年は穏やかな日々を送った。 ( )  
 (21) 犯罪を慎重に捜査する。 ( )  
 (22) 早朝マラソンで体を鍛える。 ( )  
 (23) 各段落の要点を把握する。 ( )  
 (24) 両国の友好関係を維持する。 ( )  
 (25) 客人に茶菓を勧める。 ( )  
 (26) 盛大なパーティーを催す。 ( )  
 (27) 庭木に肥料を施す。 ( )  
 (28) 教授の指導を仰ぐ。 ( )  
 (29) 怠惰な生活を改める。 ( )  
 (30) 森林の伐採が洪水を起こす。 ( )

【レックス】 (7) 「柔和」は穏やかでやさしい様子。「穏和」「温和」は類義語。

(16) 「貢献」は力を尽くし、役立つこと。

評価

正解数

A 28~30

B 24~27

C 16~23

D 0~15

時間10分

書き取り問題

最頻出Aランク1

★次の——線を引いたカタカナを漢字に直しなさい。

- (1) 建物を柱でササ<sup>レ</sup>える。  
 (2) 商店街で酒屋をイトナ<sup>レ</sup>む。  
 (3) 浜辺で美しい貝殻をヒロ<sup>ウ</sup>う。  
 (4) 学校までオウフク<sup>二</sup>時間だ。  
 (5) 貴重品をフロントにアズ<sup>レ</sup>ける。  
 (6) 旧友から年賀状がトド<sup>ク</sup>。  
 (7) 飢えに苦しむ子を思<sup>う</sup>とムネ<sup>レ</sup>が痛む。  
 (8) 先輩からキビしい指導を受<sup>ケ</sup>る。  
 (9) 物理学のセンモン<sup>レ</sup>家が解説する。  
 (10) 財政赤字をへ<sup>ラ</sup>す。  
 (11) 留学生を自宅へマ<sup>レ</sup>ネく。  
 (12) 形は同じだが、色<sup>レ</sup>がコト<sup>レ</sup>なる。  
 (13) 増水した川で遊ぶのはキケン<sup>レ</sup>だ。  
 (14) つら<sup>ラ</sup>が溶けて水がタ<sup>レ</sup>れる。  
 (15) 果物を食べてビタミンをオギ<sup>ナ</sup>う。  
 (16) 不要な書類を細かく切りキザ<sup>レ</sup>む。  
 (17) オサ<sup>ナ</sup>い妹の世話をする。  
 (18) 西の空が夕日<sup>レ</sup>で赤くソ<sup>マ</sup>る。  
 (19) カン<sup>タ</sup>ンな問題から解き始<sup>メ</sup>る。  
 (20) 台所をセイケツ<sup>ニ</sup>してお<sup>ク</sup>。  
 (21) ヤクソク<sup>の</sup>時間に遅<sup>レ</sup>れる。  
 (22) 肩を寄せ合<sup>っ</sup>てク<sup>ラ</sup>す。  
 (23) ヒタイ<sup>を</sup>寄せて対策を練<sup>ル</sup>。  
 (24) 毛糸のマフラー<sup>を</sup>ア<sup>ビ</sup>む。  
 (25) 飛行機をソウジュウ<sup>ス</sup>る。  
 (26) 水ぼうそうのテンケイテキ<sup>な</sup>症状。  
 (27) 失業して生活にコ<sup>マ</sup>る。  
 (28) 真相はヨウイ<sup>には</sup>解明され<sup>な</sup>い。  
 (29) 夜半からハゲ<sup>しい</sup>風雨になる。  
 (30) 新しい方法をココロ<sup>ミ</sup>る。

レッスン

(25) 「ソウジュウ」の「ソウ」はてへん。(26) 「テンケイテキ」は特徴を最もよく表す、という意味。

評価

	正解数
A	28~30
B	24~27
C	16~23
D	0~15
時間10分	

□1 次の漢字の総画数を算用数字で答えなさい。

〔各2点〕

- (1) 過  
(2) 蒸  
(3) 展

- ( ) 画  
( ) 画  
( ) 画

□2 次の一文は行書で書いたものである。

□に入る偏

と同じ偏を持つ漢字を後から一つ選び、記号で答えなさい。  
〔3点〕

兑金を納める。

- ア 料 イ 読 ウ 祖 工 秋 ( )

□3 次の漢字を楷書で書く場合の総画数と同じ画数の漢字を後から一つ選び、記号で答えなさい。  
〔3点〕

- ア 立 イ 志 ウ 実 工 行

初

- ( )  
( )

□4 次の漢字の部首名をひらがなで、総画数は算用数字で答えなさい。  
〔各2点〕

答えなさい。

- (1) 熟 ( ) 画  
(2) 創 ( ) 画  
(3) 緑 ( ) 画

□5 次の漢字の部首名をひらがなで答え、総画数の同じ漢字を後から一つ選び、記号で答えなさい。  
〔各2点〕

- (1) 進 ( ) 画

- ア 骨 イ 弱 ウ 張 工 復 ( ) 画  
(2) 侵 ( ) 画  
ア 修 イ 促 ウ 劑 工 富 ( ) 画

□6 次の漢字に共通する部首名をひらがなで書きなさい。  
〔各3点〕

- (1) 極・様 ( )  
(2) 寒・寂 ( )  
(3) 持・投 ( )

レッスン

部首には、へん、つくり、かんむり、あし、たれ、によ、かまえがある。

□7 「穩」を漢和辞典で調べたところ次のようなことがわ

かりました。次の□①には部首名をひらがなで書き、

□②には部首索引での画数を算用数字で答えなさい。

[各3点]

① ( ) ② ( ) 画

「穩」は、□①という部首の□②画に属す。

□8 次の漢字の部首名をひらがなで、総画数を算用数字で

答えなさい。

[各2点]

- (1) 窓 ( ) 画  
 (2) 街 ( ) 画  
 (3) 愛 ( ) 画  
 (4) 聞 ( ) 画  
 (5) 雇 ( ) 画

□9 次の漢字に共通する部首名をひらがなで、部首の画数

を算用数字で答えなさい。

[各2点]

- (1) 間・関 ( ) 画  
 (2) 功・勝 ( ) 画  
 (3) 突・室 ( ) 画

□10 次の(1)～(3)は、それぞれの読み方をする熟語を書いた

ものです。「」には、——線を引いた漢字の部首が正し

く書かれていれば○、間違っていたら正しくない漢字を書き、

下の( )には書き直した漢字の部首名を書きなさい。

[完答・各2点]

- (1) 瘵棄(はいき) 「」 ( )  
 (2) 郊外(こうがい) 「」 ( )  
 (3) 祝辞(しゅくじ) 「」 ( )

□11 次の——線を引いたカタカナにあたる漢字はどの部首

に属していますか。後から選び、記号で答えなさい。

[各3点]

- (1) スルドク突く。 ( )  
 (2) 白木の建チク。 ( )  
 (3) 人間は孤ドクな生き物だ。 ( )  
 (4) ケン微鏡をのぞく。 ( )  
 (5) 感ガイにたえない。 ( )

- ア さんずい イ たけかんむり ウ かねへん  
 エ うかんむり オ きへん カ けものへん  
 キ りっしんべん ク おおが い ケ しんによう

レッスン

7の「部首索引での画数」とは、総画数から部首の画数を除いた画数のこと。

## 読み取り問題

## 最頻出Aランク②

★次の——線を引いた漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 市内を循環するバスに乗る。  
 (2) 逃げ出したい衝動に駆られる。  
 (3) 古寺を巡る旅が好きだ。  
 (4) 人気歌手が新曲を披露する。  
 (5) 都会を捨てて田舎暮らしをする。  
 (6) 民芸品には素朴な味わいがある。  
 (7) 時間に余裕をもって出発する。  
 (8) 同じ趣味をもつ友人とは話が弾む。  
 (9) 神社の裏の緩い坂道を上る。  
 (10) 納得のいくまで話し合う。  
 (11) この小説は不朽の名作と呼ばれる。  
 (12) 家を出た途端に雨が上がった。  
 (13) 需要と供給のバランスを保つ。  
 (14) 締め切り日が明日に迫る。  
 (15) 作品の随所に工夫を凝らす。
- (16) 決算が赤字に陥る。  
 (17) 型紙をあてて布地を裁つ。  
 (18) スピードの自動制御装置が働く。  
 (19) 光沢のある布地を選ぶ。  
 (20) 身分証明書を添える。  
 (21) 古代文明の発祥の地を訪ねる。  
 (22) 文章の内容を吟味する。  
 (23) 東西の文化を比較する。  
 (24) 放置自転車は通行の妨げとなる。  
 (25) 上司に厳しい口調で注意された。  
 (26) 過疎化の顕著な事例を示す。  
 (27) 苦手な科目を克服する。  
 (28) 先端技術を駆使した医療機器。  
 (29) 先生の恩に報いる。  
 (30) ハトは平和の象徴とされる。

【レックス】

(2) 「衝」は、「エイ」と読む「衝」、「コウ」と読む「衝」と形がよく似ているので、注意する。

評価

正解数

A 28~30

B 24~27

C 16~23

D 0~15

時間10分

書き取り問題

最頻出 A ランク 2

★次の——線を引いたカタカナを漢字に直しなさい。

- (1) 二十人の部下をヒキいる。  
 (2) 家に帰ってシャワーをアびる。  
 (3) この寺は一見のカチがある。  
 (4) バイオリンのエンソウに酔いしれる。  
 (5) 審査員が作品のヒヒヨウをする。  
 (6) 全校生徒が校庭にナラぶ。  
 (7) 恩師との約束をハたす。  
 (8) ムズかしい問題に挑戦する。  
 (9) 道路のはしに車をヨせる。  
 (10) 畑をタガヤして、種をまく。  
 (11) 夏の星座をカンサツする。  
 (12) しんしんと雪がふる。  
 (13) 地下鉄が開通してベンリになった。  
 (14) 交通量の多い道路はアブない。  
 (15) でき上がった料理を皿にモる。
- 
- (16) コシヨウした自動車<sub>を</sub>修理に出す。  
 (17) 本を読みすぎて頭がイタイ。  
 (18) タ食までに宿題をスませる。  
 (19) 限りあるシゲンを大切に使う。  
 (20) コウセキをたたえて胸像を飾る。  
 (21) 子供たちのスコやかな成長を願う。  
 (22) 時代をハンエイした小説。  
 (23) この薬は食欲不振にコウカがある。  
 (24) 戦争は全人類を不幸にミチビク。  
 (25) 宇宙人のソンザイを信じる。  
 (26) 少年が羊のムれを追う。  
 (27) 姉が結婚して、フクザツな心境だ。  
 (28) 彼は人一倍セキニン感が強い。  
 (29) 桜の花びらが土手にちる。  
 (30) 人工エイセイを打ち上げる。

⑭の「コシヨウ」は同音異義語に「呼称」「湖沼」などがあるので、注意する。

評価	
	正解数
A	28~30
B	24~27
C	16~23
D	0~15
時間10分	

# 実戦問題

## 書体

得点

/100  
時間  
20分

□1 次の漢字の書体を何といたしますか。後から一つ選び、記号で答えなさい。  
〔6点〕

極 様

ア 楷書体    イ 行書体    ウ 草書体

□2 次の熟語のうち二字とも行書で書かれているものをつ選び、記号で答えなさい。  
〔6点〕

ア 速度    イ 変則    ウ 階段    エ 門出

□3 次の漢字を行書で正しく書いたものはどれですか。一つ選び記号で答えなさい。  
〔6点〕

ア (経) 徑    イ (神) 神

ウ (善) 善    エ (枝) 枝

□4 次の漢字を行書で正しく書いたものを下から一つ選び、記号で答えなさい。  
〔各6点〕

(1) 夢    ア 夢    イ 夢    ウ 夢    ( )

(2) 議    ア 議    イ 議    ウ 議    ( )

□5 次の漢字は、すべて行書で書いてあります。楷書と筆順が違うものを一つ選び、記号で答えなさい。  
〔6点〕

ア 前    イ 若    ウ 目    エ 使    オ 全

□6 次の漢字を行書で書くとき、( )で示した偏の書き方が正しくないものを一つ選び、記号で答えなさい。  
〔6点〕

ア 計 (彳)    イ 細 (彡)

ウ 接 (扌)    エ 現 (王)    オ 活 (氵)

レッスン

楷書とは字画をくずさない書き方。行書は楷書よりややくずした形で、筆順や点異なる場合もある。

- 7 次の漢字を楷書で書く場合、「折れ」と「曲がり」の両方の筆使いを含んでいるものを一つ選び、記号で答えなさい。  
〔6点〕

ア 央 イ 光 ウ 車 工 見 才 屈

- 8 「若」と楷書で書く場合、四画目の筆使いを何と違いますか。書きなさい。  
〔7点〕

- 9 次の二字を楷書で正しく書きなさい。  
〔7点〕

履 登

- 10 次の文は行書で書かれています。——線を引いた漢字を楷書で正しく書きなさい。  
〔6点〕

自然の神秘に驚く。

- 11 次の文を楷書で正しく書きなさい。  
〔8点〕

柳は青く桃は紅なり

- 12 「犇」という旁と、次の□内の行書で書いた偏のいずれかを組み合わせることができる漢字を、楷書で二つ書きなさい。  
〔各6点〕

車、レ、彳、足、貝

- 13 次に漢字の一部を省き、行書で書いている熟語があります。例にならって、偏を楷書に改め、旁を楷書で補って熟語を書きなさい。  
〔完全・12点〕

例 開 汜 ↓ (開港) 紅 論 ↓ ( )